



古代の九九くくは非公開

校長 中野 誠

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、熱中症警戒アラートがうそであったように過ごしやすい日が続き、地域、保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。

さて、本校は令和4年度から、船橋市教育委員会より「確かな学力の向上」について3か年の研究指定を受けています。これは、法典小学校の子供たちの実態を踏まえ、子供たちが主体的に学習に取り組む態度を育成することを目的にしています。そのため私たち法典小の教師は、子供たちが興味・関心を抱き、好奇心をもたせることや、理解を深めたいと思うような授業づくりを目指しています。

9月4日の新聞に「藤原京跡で“九九の表”発見！」と報じられました。およそ1300年前の宮殿跡で発掘されたそうです。この表を見てみると「九九・八十一（くく・はつじゅういち）」から始まり「九八・七十二」「九七・六十三」と続きます。間もなく2年生は算数で九九を学習しますが、現在は生活と結びつきが強い「五の段」から学習し、覚えやすい二の段→三の段と進んでいきます。ではなぜ、1300年前はわざわざ難解な九の段から始めたのでしょうか。それは、貴族や役人などの特権階級を守るためだったと考えられています。殿上人の昇殿回数や役人の出仕日数の計算のために使われていた九九を、平民たちに知られてはいけない。そこでわざと覚えにくくし、「九九の知識を尊く、近寄りがたいものにする必要があった」（片野善一郎著「教師のための数学史」ということです。

古代の為政者たちは知識を独占することでその地位を保ちましたが、私たちは子供たちが「知る楽しさ」を感じながら学べる授業づくりに努めています。さらに、研究指定校として、市内トップレベルの授業力が求められている私たちは、常に対話的で主体的に取り組む姿勢を大切にし、授業改善に取り組んでいます。本年度が研究指定の最終年度となります。来月には、研究の成果を発表する「公開研究会」を開催いたします。引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<学校からのお知らせ>

◎短縮日課について

9月24日(火)~9月27日(金)は、前期の成績処理期間のため、短縮日課(13:30下校)になります。放課後、ご家庭で過ごす時間が増えますので、帰宅後の過ごし方(地域の迷惑にならない遊び方、遊び場所、時間等)や交通事故・不審者等への注意について学校でも指導いたしますが、ご家庭でもお子さんと確認をお願いします。

◎希望面談について

10月15日(火)、16日(水)、17日(木)に、希望面談を予定しています。前期終了の節目となりますので、是非この機会をご活用ください。時間等については、各学年だよりをご参照ください。

◎校内音楽発表会について

10月25日(金)に校内音楽発表会を予定しています。また、前日の10月24日(木)に、リハーサルを行います。保護者の方にはこちらのリハーサルを公開しますので、是非ご参観ください。本日、ご案内の手紙を配付いたします。



◎公衆電話機の撤去について

10月1日(火)から公衆電話機の撤去に伴い、公衆電話機の利用ができなくなります。ご理解の程よろしくお願ひします。

◎近隣店舗・商業施設・マンション等への停車・駐車禁止へのご協力のお願ひ

希望面談や音楽会リハーサルでご来校の際、車の利用をご遠慮いただいております。また、近隣店舗や商業施設、マンション等への停車・駐車禁止について、ご理解ご協力を引き続きお願ひします。